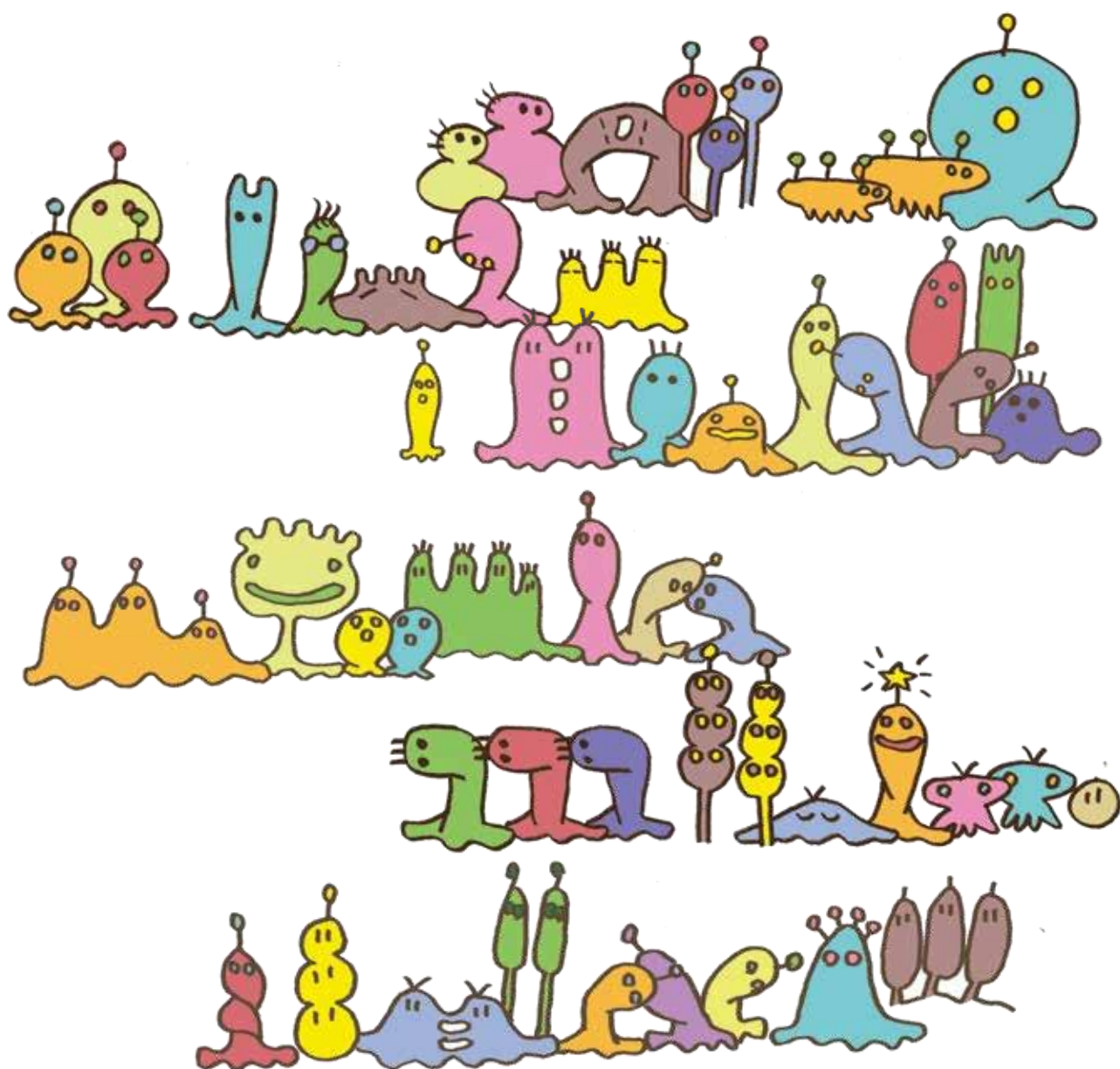


# 武器よりご飯を。 暴力よりケアを。



日時 2023年4月8日(土) 13時~17時  
場所 オリピック記念青少年センター  
センター棟 403号室

参加費 会員カンパ 500円 / 非会員 1000円

---

# 大会プログラム

13:00 開場 / zoom 入室開始

13:30 開始

挨拶、本日の案内

アイスブレイク(エアボール投げ)

話し合いのグランドルール

13:40 **第1部 介護保険の危機**

私個人の困難から、なぜ国を訴えているのか 伊藤みどり

14:00 グループワーク 1

14:50 休憩 10分 (販売スペース)

15:00 **第2部 100年ビジョンを読み直す**

グループワーク 2(時間があれば)

15:45 休憩 15分 (販売スペース)

16:00 **第3部 総会**

活動報告、会計報告、事業計画(2023年度何をしたいか)、予算

話し合い 4人グループ

17:00 終了

※総会は、記録のために録音・録画します。記録の目的以外に使用しません。

---

## 交換・販売スペース

物々交換、本やバッチ、zine など配布 & 販売(残ったものは、各自お持ち帰り)

---

# アイスブレイク

## エアーボール投げ

会場とオンラインで分けておこないます。

### 会場

みんなで人間の輪を作ります。

動いてもぶつからないくらいに隣の人と間を開けてください。

はじめに見えないボール(エアボール)があると想像してください。

そのボールの素材や形、大きさや重さは一人一人の想像にお任せします。最

初にボールを投げる人を決めてください。

はじめに投げる人は、ボールを投げる相手を決め、

相手にアイコンタクトをしてボールを投げてください。

ボールを受け取った人は、次の人へアイコンタクトをしてボールを投げてください。

最後にボールを受け取った人は、初めの人にボールを投げて終わります。

### zoom

やることは会場とほぼ同じです。

最初にボールを投げる人は相手を指名し、カメラに向かってボールを投げてください。

指名された人はボールを受け取って、次の方を指名してボールを投げてください。

全員が投げ終わったら終了です。

---

# 安全・安心な場を作るための話し合いの基本ルール

## 1.参加

- 積極的に参加しましょう。
- 自分の体調を優先して、場を離れたり、休んでもいい。
- 話すことの範囲は自分で決める。話したくないことは話さなくていい。

## 2.尊重

- どんな意見・発言も尊重します。
- 「私は」「ぼくは」「俺は」など自分を主語にして話します。
- 他の人への発言に対して批判や批評をしない。
- 理解を深めるための質問はしましょう。
- 「あなたは〇〇ですね」とレッテルを貼らない。
- 「個人」にはやさしく「問題」にはきびしく、「個人」と「問題」を分けて考える。
- 人が話しているときに割り込まない。隣の人とおしゃべりしない。心から聴きましょう。

## 3.時間

- 時間をひとりじめしない。ひとりだけ長く話さない。
  - 発言する機会は平等に。初めての人や、場に慣れていない人を優先する。
- ※結論がでない話題、テーマからはみ出す話題は、ポットに入れて取っておく。

## 4.守秘義務

- ここで知った個人的な体験や情報を会場の外で話したり、SNSに載せたり、他の目的に利用しないこと。
- 参加者の了解なく撮影・録音・取材をしないこと
- 安心して率直に話せる場を、みんなで作ります。

---

## 目次

p.2 大会プログラム

p.3 アイスブレイク

p.4 話し合いのグラドルール

5. 第1部 介護保険の危機

6. 第2部 100年ビジョンを読み直す

p.8 活動報告

・はたらく女性のホットライン p.8

・相談員トレーニング p.13

・対話の土壌をかもすワークショップ p.13

・かもす通信 p.14

・読書会報告 p.15

・性と自分を話す会 p.15

・ちまちま手仕事の会 p.15

・協同組合 p.15

・イベント報告「組合によるエンパワーメント：インド SEWA(自営女性協会)運動から学ぶ」 p.17

・会員の活動 p.18

p.19 決算報告

p.20 予算書

---

## 第1部 介護保険の危機

私個人の困難から、なぜ国を訴えているのか 伊藤みどり

### グループワーク1

1. 私の人生表をかく。(10分)

2. 6人グループに分かれて一人3分、一人一人の個人のストーリーを語る。(25分)

3. 発表する(15分)

---

## 第2部 100年ビジョンを読み直す

働く女性の全国センター 長期ビジョン =100 年を見通して =(2012 年作成、2017 年改訂)

### (1) 「はたらく」定義

労働者という肩書きは女性たちにはよそよそしい。

なぜなら、女性たちは肩書き抜きに、はたらいてきたからだ。

私たちにとって「はたらく」とはなにか。

はたらくとは、キャリアを積み上げることではない。

はたらくとは、命を支えることだ。

賃金が支払われる労働だけではなく

家事・育児・介護・社会活動・趣味など自分を支え、

人を支え、命を支えるあらゆる営みである。

### (2) 団体のありかた

誰かを蹴落とすこと、優位に立つことを求めるのではなく

従属や支配ではない、

尊重をもとにした関係を作り出すことを、

私たちは目指す。

私たちは、命の側に立ち、

人びとの前に、

女性たちの前に立ち、はだかる搾取・差別・偏見・欺瞞に抵抗する。

抵抗することに疲労を覚える時は、

休み、涙し、力を与え合い、笑う。

### (3) 性の分断をこえる

女性はいまだに、分断されている。

独身か既婚か、パートか正社員か、病気が健康か、はたまた。

権力が私たちを引き裂く。私たちもまた、  
立場の違いによって相手の声に耳をふさぎたくなることもある。  
だが、引き裂かれた裂け目に、私たちは橋を架ける。  
意見の違いを認め、対話することをあきらめない。  
それは互いを遠ざけ合うためにではなく、すべて橋を架けるため。

#### (4) 私たちの姿勢

いつの日か  
おんなであること、はたらくことが、  
搾取や差別や暴力の対象や温床となるのではなく、  
与え合うこと、豊かにし合うこと、平和を生み出すものとなるために。  
その日まで、私たちは休みながらも歩むことを、ここに記す。

【注】女性=性自認が女性である人

---

### グループワーク2

1. 100年ビジョンを読む。一人1行ずつ。
2. 第1部と同じグループに分かれる
3. 個人作業：読んで感じたことを、付箋1枚にひとことずつ書く。(5分)
4. グループ作業：書いたことを一人ずつ順番に発表。共通点のあるもので分類し模造紙に貼る。  
分類ごとに名称をつける。発表者を決める(20分)
5. 各グループの発表(1グループ5分)
6. 各自「私の100年ビジョン」を考える(10分)
7. それぞれの100年ビジョンを読み、全員で共有する(15分)
8. クロージング 全員がひとことずつ(10分)

# 活動報告

## はたらく女性のホットライン 2022年1月～12月 報告

5 とのつく ごとう日に全国 4 拠点持ち回りで、236 件の電話相談を受けた。

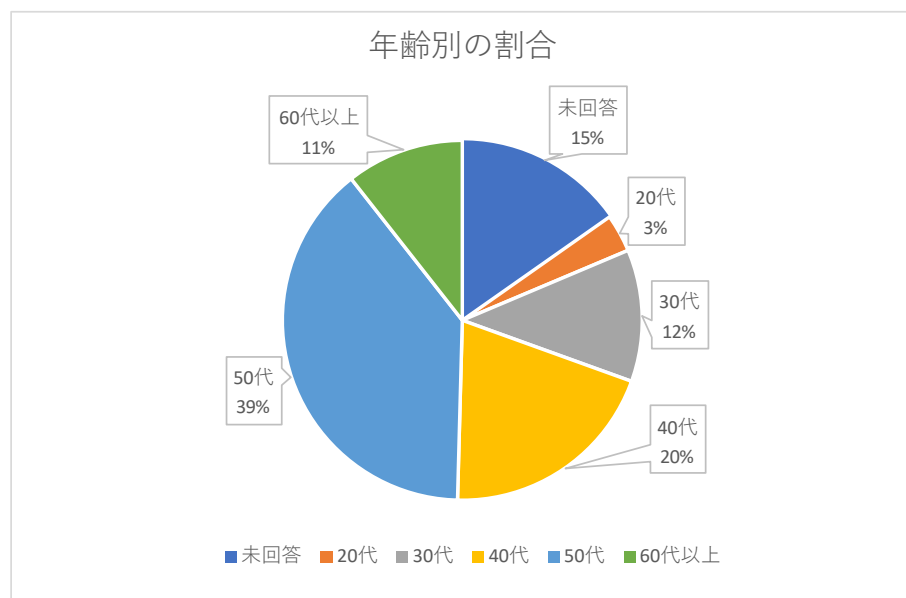
### 1 地域&働き方

- ・北は岩手・秋田ftら、南は福岡・長崎まで(相談者のまったくない県あり)。東北に熱心な利用者あり。
- ・非正規職の相談者が全体の 3 分の1強となっている。無職の方も増えている。

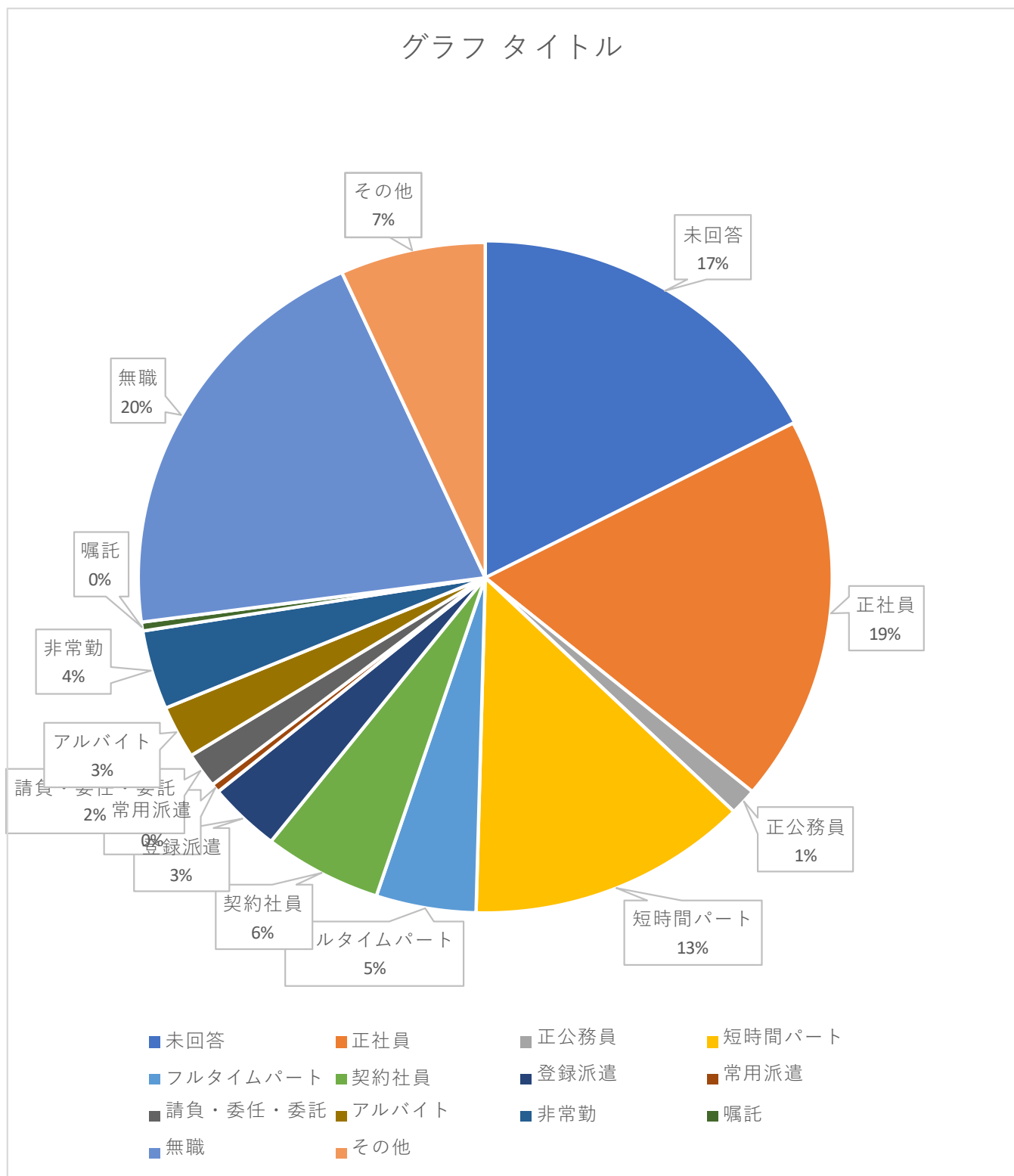
	正社員	非正規	無職その他	未回答	合計
東北	1	12	41	9	63
関東	15	23	8	13	59
中部	6	5	0	0	11
近畿	19	23	8	3	53
山陽	0	1	1	0	2
fh州	3	10	1	0	14
未回答	3	8	5	16	32
合計	47	84	64	41	236

### 2 相談者の年代

50 代の割合がとて高くなっている。その年代の相談者では正社員が他の年代に比べて多い。



### 3 相談者の雇用形態(詳細)



その他: 自営, 農業, 就労支援 B 型事業所, 大家, 資格取得中, 自営+障害年金 など

### 4 業種

建設・製造業 29

小売・飲食・宿泊・サービス業 24

医療・福祉・教育 30

公務 15

未回答その他 138

その他：複数の仕事のftけもち多い。ほftにアパート経営，駐車場経営，ホームページ作成，清掃訪問，美容関係など。障害者雇用も。

## 5 職種

	正規	非正規	その他	未回答	合計
未回答	7	23	48	34	112
事務職(一般)	29	25	1	3	58
事務職(総合)	5	1	0	0	6
専門・技術職	4	11	1	2	18
教員	0	2	0	0	2
接客・販売	0	10	1	0	11
現場（工場・現場作業，配送，清掃等）	1	8	2	1	12
その他	1	4	11	1	17
合計	47	84	64	41	236

その他：無職，水泳のインストラクター，不動産，チラシ配布、縫製作業など，医療補助事務，専門学校受付，営業，オペレーター，マーケティング，調理関係の補助，

## 6 勤続年数

	正規	非正規	その他	未回答	合計
未回答	5	16	56	34	111
1年未満	5	28	2	2	37
1年以上5年未満	11	18	3	3	35
5年以上10年未満	2	8	1	0	11
10年以上20年未満	4	14	2	0	20
20年以上30年未満	12	0	0	1	13

30 年以上	8	0	0	1	9
合計	47	84	64	41	236

## 7 相談内容

	正規	非正規	その他	未回答	合計
未回答	6	9	10	7	32
暴言	2	1	2	0	5
仕事過重	1	1	0	0	2
無視	1	0	0	0	1
いじめその他	5	4	2	4	15
セクハラ	0	3	0	3	6
その他人間関係	9	16	8	6	39
解雇・雇い止め	1	3	0	2	6
退職勧奨	3	0	0	0	3
雇用保険	0	2	0	0	2
雇用不安	1	3	1	1	6
その他雇用関係	1	6	0	0	7
長時間労働	0	1	0	0	1
サービス残業	0	1	0	0	1
有給休暇	0	1	0	0	1
その他労働時間・休日	1	5	0	0	6
時間・休日の変更	0	4	0	0	4
職務の変更	1	1	0	0	2
雇用形態の変更	1	1	0	0	2

配転・転勤	5	0	0	0	5
出産・育児	1	1	0	1	3
病気・休職	2	1	3	0	6
仕事内容	0	3	0	0	3
労災・安全・衛生	0	0	0	2	2
労組について	0	1	0	0	1
その他	6	16	38	15	75
合計	47	84	64	41	236

その他：「今の気持ちを聞いてほしい」が多い。ほかに、けが 骨折、生活不安、扶養控除、介護、裁判支援、家族関係、転職、夫との関係、失業不安と年金不安、希死念慮、あっせん、娘のこと、生活保護 低賃金、就活、母親との関係、A型事業所、弁護士との関係、副業、転職先選択、受験に向けて、転職と手当受給、失業、など。

## 8 どこで知ったか

番号	回答	正規	非正規	その他	未回答	合計
0	未回答					96
9	その他新聞	0	0	1	0	1
10	インターネット	19	33	11	5	68
11	知人	4	1	3	0	8
12	リーフレット等	9	22	28	4	63
	合計	47	84	64	41	236

### ■ セクハラ相談について

- ・6件。内容は「言葉によるもの」「身体接触」「しつこい誘いかけ」など。
- ・被害の影響は、うつ、医療機関受診など。
- ・就業規則などでセクハラの規定、相談窓口が職場にあるかどうかは未回答多かった。

---

# 相談員トレーニング

講師：高山直子(カウンセリング&サポートサービスN)/ 伊藤みどり(ACW2)

## ・プログラムの内容

4月16日(土) 第1回 オリエンテーション、傾聴ロールプレイ、傾聴について①

(相談して良かったこと、悪かったこと、信頼関係の構築)

5月21日(土) 第2回 傾聴について②～安心感・安全感を与えるアプローチ～

6月18日(土) 第3回 質問スキル～考える機会の提供+現実や事実との向き合わせ～

8月20日(土) 第4回 実践ロールプレイ～色々な相談を体験する～

9月17日(土) 第5回 ハラスメント被害者対応について

～加害者が存在しなければ、被害者は存在しない～

10月15日(土)第6回 困難事例/ディスエンパワーしないための意識

## ・受講した感想

高山先生の講義はとても分かり易く、具体的なお話が多かったのが良かったです。

ロールプレイもやってみて、沢山の気づきがありました。一年前から始めた電話相談の場で、気になること、迷うことなどについて教えていただくことができました。

大変、充実したトレーニングを受講できました。今後にしっかり活かしていきたいと思えます。ありがとうございました。

---

## 対話の土壌をかもすワークショップ

各月1回、全5回すべてオンライン(ZOOM)で開催しました。

「どこからでも参加できる!」というオンラインの利点を最大限に活かし、全国からの各回 5～8名の参加がありました。

リアルに会わなくても、皆との交流を図ることで、想定以上の深い話しをすることができました。

また、「これは今まで気づかなかった!」この経験を、職場で活用していきたい!」「かもす

ブックを使いたい！」などの感想も出されました。

尚、参加費 一括：2,500 円(単回：500 円)としました。

**第 1 回 開催日 11/20(日) 14:00 ~ 17:00 進行役 伊藤みどり**

自分を大切にする

セルフケアの仕方を学びあう

**第 2 回 開催日 12/18(日) 14:00 ~ 17:00 進行役 おーやん**

自分の良いところ探し

「長所」と「短所」を考える

**第 3 回 開催日 1/15(日) 14:00 ~ 17:00 進行役 伊藤みどり**

自分の中の力を知る

「Power Flower」を作成する

**第 4 回 開催日 2/19(日) 14:00 ~ 17:00 進行役 おーやん**

人の話を良く聴く

傾聴と質問のトレーニング

**第 5 回 開催日 3/19(日) 14:00 ~ 17:00 進行役 伊藤みどり**

人に伝わる話し方

3 分間スピーチトレーニング

---

## かもす通信

2022 年 1 月発行 第 53 号 24 ページ

2022 年 4 月発行 第 54 号 16 ページ

2022 年 8 月発行 第 55 号 12 ページ

2022 年 11 月発行 第 56 号 12 ページ

22 年は、ACW2 の活動のことだけでなく、会員一人一人が感じていることをできる限り載せる方針で作成しました。おーやんさんから「ひとことメッセージ」のアイデアをいただき、53 号から 30 ~ 50W 前後の短文を募集しました。たくさんの方からメッセージをいただき、一人一人の思いを在ることにできてうれしいです。

---

## 読書会報告

例年毎月 1 回夜の時間帯にメンバー推薦の本を 10 人くらいで読んできた。2022 年は 4 月

から「アダム・スミスの夕食を作ったのは誰か？～これからの経済と女性の話」を 2 月まで読み進めた。今年 3 月からは「人新生の資本論」が始まる。「アダム・スミスの夕食...」では、経済学の父アダム・スミスが利己心を「神の見えざる手」として経済学を基礎づけたが、パンも肉も料理するケアの手がなければ食べられない。女性たちが担ってきた気遣い、配慮良心、協力、連帯などが経済学から抜け落ちていることを明晰に看破し、新自由主義が個人を「人的資本」とし、「自己責任」とすることで労働と資本の対立を無効化しようとする正体を暴いている。実に小気味よい書籍だった。

---

## 性と自分を話す会

2022 年は、6 回行いました。参加は 4 人。

毎回、ジェンダーや性に関わることから、話し合いたいテーマを出し合い、じっくり話しました。

---

## ちまちま手仕事の会 報告

毎月 1 回集まり、おしゃべりしながら、それぞれ手芸や手作業をしています。話はフェミニズムについてから、読書、最近観た映画についてなど。

昨年末からは事務所で対面で行い、コロナ以前は毎月通っていた韓国料理屋さんにも行くようになりました。

ご出産者が続いたりして、最近は 5 人位でやっています。

## 小グループ活動：協同組合

「私たちは昨年、「私たちは、何故——協同組合法人に関心を持ったのか——話し合ったこと」を作成しました。そして 2022 年 12 月に「インド自営女性協会」の実践から学ぶために講座を開催することができました。

コロナが収束しつつある今年は、日本で協同組合を実践しているグループを訪ねたいと思います。また、協同組合に関心のある仲間と対面で出会い、一緒に現場を訪ねて会話ができることを願っています。

そこから新しいアイデアが生まれるかもしれません。ワクワクする一年になりますように !!

## 2022年度版

### 私たちは、何故 協同組合法人に関心を持ったのか 話し合ったこと

コロナ禍以前から、ACW2 の中では「週 3 日の賃労働でも生きさせる」「資格があっても輝けない」など、短時間パート、副業、兼業、制約ある女性たちの「はたらく」について「100年ビジョン」の中で言葉にして問題提起をしてきました。

長引くコロナでさらに生活が困窮している会員が増えています。そんな中で昨年あたりから友人の死や病気、介護の問題に接することも増えて、いわゆる困窮者就労支援では負のループに置かれてしまう。支援される側の気持ちもつらい。そんな中で協同組合法人に関心を持つ数人で話し合いが始まりました。

### 「はたらく」を見直して助け合える組織を夢見て

現在、案として出ていることを報告します。実際に知人の女性グループの編集プロダクションの協同組合の実践をしている人などの話を聞く、インドの SEWA (協同組合と労働組合とガンジー主義の併せ持った組織 = インド自営女性協会 <http://www.sewa.org/>) の実践から学ぶなどです。東アジアの女性労働団体も協同組合を併設した実践があります。それは企業に雇用されることが困難な中で協同して少しだけ仕事をして収益も得られる事業をしてみるという実践です。一緒に考え検討する仲間を募集します。同時に「居場所」も考えています。近くに「木が多くてバーベキューもできるような場所がいいね」などなど夢見ることは現実への一歩と信じて。一緒にやってみたいかた募集中です。

#### 参考文献

- ・ワーカーズ・コレクティブ(社会運動 No.443)市民セクター政策機構編集部(著)
- ・協同ではたらくガイドブック 一般社団協同総合研究所 <https://jicr.roukyou.gr.jp/>
- ・〈必要〉から始める仕事おこし:「協同労働」の可能性(岩波ブックレット NO. 1059)  
日本労働者協同組合連合会(著)

☆協同組合(案)検討グループ 募集中

問い合わせは [FY@acw2.org](mailto:FY@acw2.org)

---

## イベント報告

# 「組合によるエンパワーメント：インドSEWA（自営女性協会）運動から学ぶ」

田中雅子

2022年12月11日(日)午後、ACW2は上智大学グローバル・コンサーン研究所主催の標記のオンラインセミナーに協力し、元共同代表の伊藤みどりさんが登壇し、元筑紫女学園大学教授の喜多村百合さん、上智大学総合グローバル学部学生の大須賀彩夏さんと意見を交換した。学生や一般計76名が参加した。

自営女性協会(Self Employed Women's Association: SEWA)は、1972年にインドのグジャラート州で零細自営女性の労働組合として誕生したである。1990年代からSEWAを研究対象としている喜多村百合さんは、SEWAの組織形態や創設期から関わったリーダー、また高学歴の専従職員の役割について「力をつけるインドの働く女性たち」と題して講演した。ひとりひとりの組合員をエンパワーしながら組織化を展開するアウトリーチ活動や、貧困女性に無担保融資を行うSEWA銀行など、既存の組織と異なる特徴ある活動が紹介された。また、これらの草の根の活動で明らかになった課題を国内外での政策提言につなげる運動体であることも特徴の一つであった。

伊藤みどりさんは、1999年に開催された世界女性ユニオン会議でSEWAからの参加者と出会っている。その後の自身の労働組合での経験と照らし合わせて、組合員の専従職員への依存や組織運営上の課題を指摘し、日本の労働組合がSEWAから学ぶべき教訓について話した。

大須賀彩夏さんは、労働組合でのインターン経験から、労働組合がもつ訴求力に魅力を感じつつも、Z世代の学生がオーガナイザーとして活動を続けたくても、労働組合に権力構造を内包した組織文化があることで、学生の長期的な関与が難しいことを指摘した。

日本では、2022年10月に労働者協同組合法が施行され、労働者が自ら出資し、事業運営に携わる仕組みが注目されている。働き方の多様化と労働条件の悪化が同時進行する中、いかに組合を通じて、労働者の権利を保障するのか、といった質問や意見が参加者から寄せられた。

ACW2 も、様々な組織の運営手法を取り入れ、会員ひとりひとりがエンパワーされる組織を目指している。50年以上の歴史をもつ SEWA は、2022 年に創設者のイラー・バットさんを亡くしたが、ポスト・コロナで貧困化が進む女性労働者の組合として、一層、その役割に期待が寄せられている。インドの SEWA に関わる若い世代と ACW2 のメンバーがいつか交流できることを楽しみにしている。

当日の記録は、上智大学グローバル・コンサーン研究所の紀要「グローバル・コンサーン」の原稿として、Web 上で公開されている。

[https://dept.sophia.ac.jp/is/igc/publications\\_gc3.php?n=6](https://dept.sophia.ac.jp/is/igc/publications_gc3.php?n=6)

---

## 会員の活動( ACW2 梅りングリスト投稿から )

- フォーラム 労働・社会政策・ジェンダー
- 【2022 年度例会テーマ フェミニズム「わたし」の再考】連続講座の呼びかけ
- 公務非正規女性全国ネットワーク(はむねっと)アンケート調査 集会など活動呼びかけ
- ウィメンズ・サポート・オフィス連 3 回連続講座「語り合いグループワーク 女性カフェ～女どうしここだけの話～」の呼びかけ
- 女性労働問題研究会 「新しい資本主義」とケアワーカー 夏季セミナー呼びかけ
- 出版関連フリーランスのユニオン・出版ネッツ 【常駐フリーアンケート実施呼びかけ】
- A さん(業務委託契約報酬・ハラスメント慰謝料請求)事件支援呼びかけ
- ホームヘルパー国賠訴訟 裁判支援呼びかけ

---

**2022 年会員状況 正会員287★ サポート通信会員62★ 計349★**

# 決算報告

## 決 算 書

2022年度

ACW2

2022年 1月 1日～2022年12月31日

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	予算差異	摘 要
正会費	984,000	1,149,000	-165,000	年会費3000円とすると383人分
サポータ・通信会費	186,000	94,000	92,000	31団体個人
寄付金	700,000	377,641	322,359	
助成金	243,000	0	243,000	
講座収入	670,000	247,500	422,500	相談員トレーニング かもす講座参加費
雑収入	20,000	6,100	13,900	かもすブックレット
受取利息	0	0	0	
レッドマリア貸出料(収益分)	0	0	0	
繰越金	1,189,307	1,189,307	0	
山上映画貸出料(収益分)	0	0	0	
【収入合計】	3,992,307	3,063,548	928,759	
会議費	50,000	22,495	27,505	オリンピックセンター、南部労政会館 会場費
広告宣伝費	350,000	187,285	162,715	かもす通信発行アスクル リーフ プリントバック
旅費交通費	200,000	121,000	79,000	ボランティア交通費121回分
通信費	400,000	290,608	109,392	ヤマト運輸など ZOOM契約33000
電話料金	90,000	83,000	7,000	NTT基本料金 電話2台
光熱費	50,000	45,881	4,119	事務所 電気代
家賃	417,000	417,000	0	1月34750円×12か月
消耗品費	50,000	16,621	33,379	講座茶菓子、消毒用品、など
事務用品費	200,000	0	200,000	
雑費	50,000	64,330	-14,330	協同組合テキスト10冊11200ゴミ処理券1250印字代 9220労働新聞30800
リース料金	230,000	229,080	920	コピー機14580×12月174960 保守点検54120
支払手数料	10,000	5,720	4,280	
活動費	240,000	125,000	115,000	会計 25回分
講師謝金	470,000	230,000	240,000	相談員トレーニング講師代6回分
雑損失	0	0	0	
予備費	0	0	0	
フリーダイヤルホットライン	450,000	382,214	67,786	フリーダイヤル通話料金
助成金事業費	0	0	0	
【支出合計】	3,257,000	2,220,234	1,036,766	
当期収支差額	735,307	843,314		

# 予算書

科 目	決算額	予算額
正会費	1,149,000	1,150,000
サポータ・通信会費	94,000	100,000
寄付金	377,641	
事務所カンパ		1,000,000
助成金	0	
講座収入	247,500	350,000
雑収入	6,100	10,000
受取利息	0	
繰越金		843,314
【収入合計】		3,453,314
会議費	22,495	35,980
広告宣伝費	187,285	190,000
旅費交通費	121,000	130,000
通信費	290,608	300,000
電話料金	83,000	83,000
光熱費	45,881	50,000
家賃	417,000	417,000
消耗品費	16,621	17,000
事務用品費	0	
雑費	64,330	51,000
リース料金	229,080	230,000
支払手数料	5,720	6,000
活動費	125,000	125,000
講師謝金	230,000	240,000
雑損失	0	
予備費	0	
フリーダイヤルホットライン	382,214	390,000
引し越代		450,000
助成金事業費		
【支出合計】		2,714,980
当期収支差額		738,334

3,453,314